

## 第38回 Jネット勉強会報告

### —「前島密翁墓前祭」参加と旧吉田茂邸見学—

今回の勉強会は平成30年4月21日(土)、Jネットからの参加者は5名。この日は快晴・無風で、大楠山や前田川河畔などへの絶好のハイキング日和で、JR逗子駅からのどのバスも超が付くほど満員。これまでの墓前祭当日には無かったことです。淨楽寺へのバスの窓からは、相模湾越しに頂上に雪を載せた富士山も見えました。

#### 1. 「前島密翁墓前祭」参加

墓前祭参加は今年で5年連続、Jネット勉強会としては6回目。私達5名は式が始まる前に、墓前にてお参りと記念撮影を済ませました。

式は例年どおり淨楽寺境内で行われ、上越市から郵便局関係者、前島記念館館長、前島密翁を顕彰する会会員等7名が参加し、上越市関係者は私達5名を加え12名となりました。

配られた参加者名簿約220名の中には、上越市からの郵便局長は1名だけでした。



左から川堀、伊藤副会長、藤沢、村椿、中島各Jネット会員

最初に主催者「前島密翁を称える会」吉崎会長が参加者への謝意と「来年は翁の没後100周年にあたり、4月27日に墓前祭を行います」と挨拶、続いて上地横須賀市長は「翁は、穏やかに暮らせるこの地をこよなく愛されていた。自分も市民が心穏やかに暮らせる地にしていきたい」、村山上越市長からは「翁の志を受け継ぎ、次代に繋げていきたい」とのメッセージを司会者が代読、「前島密翁を顕彰する会」堀井会長は「記憶も大事だが、翁の知られざる業績やエピソードなどを記録することも大事なので、その収集にご協力頂きたい」と挨拶。



挨拶する堀井会長

式後、参加者多数のため4回に分けて記念撮影。上越市からの参加者とJネット勉強会参加者は最初のグループ。

この記念撮影後、私達はバスで淨楽寺前からJR逗子駅→JR茅ヶ崎駅で下車、Jネット佐藤、野田さんの女性会員2名と合流して昼食→JR大磯駅→旧吉田茂邸へ。

## 2. 「旧吉田茂邸」見学

大磯駅からタクシーで約 5 分。

吉田茂は、戦後の日本を「軽武装・経済重視」路線へ導いた昭和の大宰相とも言われており、神奈川県立大磯城山公園に隣接している旧吉田茂邸は、彼が昭和 20 年ころから同 42 年に亡くなるまで過ごした邸宅で、平成 21 年に焼失した後再建され、昨年から一般公開されています。

邸内からの眺めは絶景で、日本庭園・樹林越しに西に箱根の山々・富士山が見えるとのことでしたが、この時は残念ながら霞んでいて富士山は見えませんでしたが、南に青く輝く相模湾を一望できました。

邸内には、来訪者を迎えた食堂や賓客をもてなす金の間(応接室)、吉田が首相在任中に過ごした官邸直通の黒電話のあった畳敷きの書斎、生涯を閉じた寝室兼書斎である銀の間も再現されています。

庭園・公園に出れば、中池、心字池と中島、藤棚、七賢堂、東を向いた大きな吉田茂像など見応えがありました。吉田がこの邸宅の中で、日本の舵取りをしていたのか思うと感慨深いものがあります。



吉田邸を背景に左から川堀、伊藤、佐藤、遠藤、野田、村椿、中島、藤沢



金の間にて

邸前で近くの町に住む高田高校 OB の遠藤さんが、私達の見学が終わるまで待っていてくれ、見学後の反省会は、遠藤さんと一緒にご推薦の讃岐うどん屋へ。酒良し、鍋良し、うどん更に良し、話も大いに盛り上がって、今日の勉強会を終了しました。



七賢堂前



吉田茂銅前